

沖縄戦「集団自決」についての教科書検定に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成20年2月26日

提出者

7番 川名 ゆうじ

5番 砂川 なおみ

4番 梶 雅子

17番 井口 良美

19番 寺山 光一郎

21番 田辺 あき子

武蔵野市議会議長 近藤和義 殿

## 沖縄戦「集団自決」についての教科書検定に関する意見書

文部科学省は、平成 20 年度から使用される高等学校用日本史の教科用図書を審査する教科用図書検定調査審議会において、沖縄戦における集団自決の記述について、「沖縄戦の実態について誤解するおそれのある表現である」との検定意見を付し、日本軍の関与を削除する修正を行った。これに対し検定意見の撤回を求める超党派の沖縄県民大会が開かれるなど抗議行動が行われ、沖縄県議会、及び沖縄県の市町村議会のみならず多くの自治体議会でもこの問題について、検定撤回の要求、教科書の原記述の回復を求める意見書を採択している。

文部科学省は、訂正申請を受け付け、教科書の文章は修正されることとなったが、「集団自決」については、議論が尽くされていない。

国内唯一の地上戦が行われた沖縄において、県民が筆舌に尽くしがたい境遇におかれ、多くの戦没者、犠牲者が生まれたことについては、紛れもない事実である。

よって武蔵野市議会は、下記事項を要請する。

### 記

- 1 国が沖縄戦における「集団自決」の事実を解明すること。
- 2 教科書において、史実を正しく伝えること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 20 年 2 月 日

武蔵野市議会議長 近 藤 和 義

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
文部科学大臣

— あて